

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-262598

(43) 公開日 平成10年(1998)10月6日

(51) IntCl⁶

A 2 3 L 1/22

識別記号

F I

A 2 3 L 1/22

F

審査請求 未請求 請求項の数12 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-106530
(22) 出願日 平成9年(1997)3月21日

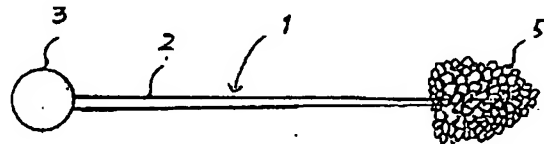
(71) 出願人 000235026
八木 宏純
千葉県東葛飾郡沼南町高柳新田155-10
(72) 発明者 八木 宏純
千葉県東葛飾郡沼南町高柳新田155-10
(74) 代理人 弁理士 前原 清美

(54) 【発明の名称】 串付き砂糖塊

(57) 【要約】

【課題】 山や、ピクニックへ出かけた時、或いは飛行機や船のように揺れる環境の中でコーヒー、ココア、紅茶など温かい飲み物を飲む時、スプーンを使わずに、砂糖を加えて飲むことを可能にした串付き砂糖塊を提供することを本発明の課題とする。

【解決手段】 本発明は、串の一端を把持部にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊を固着させてなる串付き砂糖塊である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】串の一端を把持部にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊を固着させてなる串付き砂糖塊。

【請求項2】串の他端を針状にし、その針状部に砂糖塊を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項3】串の他端を針状にし、その針状部に砂糖塊とは別の食用部材を刺して固着し、その食用部材の周囲に砂糖を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項4】串の他端を針状にし、その針状部に砂糖塊とは別の食用部材を刺して固着し、その食用部材の周囲に食用液状接着剤を付着させ、その周囲に砂糖を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項5】串の他端を針状にし、針状部に砂糖塊とは別の食用部材を刺して固着し、その食用部材の周囲に食用液状接着剤を付着させ、その周囲に氷砂糖を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項6】串の他端を針状にし、針状部に人形形砂糖塊を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項7】串の他端を針状にし、その針状部に動物の形をした砂糖塊を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項8】串の他端を針状にし、その針状部に人物の顔形砂糖塊を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項9】串の他端を針状にし、その針状部に金太郎飴形砂糖塊を固着させてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項10】串の他端を針状にし、その針状部に花、蕾、葉などの形の砂糖塊を固着させ、その花の香料を入れてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項11】砂糖塊に香料を入れてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【請求項12】砂糖塊に色素を入れてなる請求項1記載の串付き砂糖塊。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は串付き砂糖塊に関し、特に、暖かい飲み物を飲む時、スプーンを使用しないで砂糖を加え得るようにした串付き砂糖塊に関する。

【0002】

【従来の技術】コーヒー、ココア、紅茶など温かい飲み物には砂糖を入れて飲むことが多い。普通、砂糖は砂糖容器に容れて常備し、スプーンで所望量だけすくって使用する。また、一回分ずつ紙の容器に包装されたものを使用することも多い。そのいずれの場合も、スプーンを使ってかき混ぜる。このようにスプーンを使ってかき混ぜることは、家庭や喫茶店やホテルにおいては、不便さは感じられないけれども、例えば、山の上でコーヒーを飲む時や、ピクニックへ出かけた時、或いは飛行機の中

や船の中のように揺れる中で飲む時には、結構面倒なものであり、スプーンは邪魔なものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】そこで、山や、ピクニックへ出かけた時、或いは飛行機や船のように揺れる環境の中でコーヒー、ココア、紅茶など温かい飲み物を飲む時、スプーンを使わずに、砂糖を加えて飲むことを可能にした串付き砂糖塊を提供することを本発明の第1の課題とする。串付き砂糖塊の串部分の素材を、竹や木材や金属や合成樹脂などの安価な材料で構成し、場合によっては使い捨てをも可能にすることを本発明の第2の課題とする。串付き砂糖塊の砂糖塊部分を種々の形状にして趣向をそそることを本発明の第3の課題とする。串付き砂糖塊の砂糖塊部分を所望の色と香りを有するようにしたことを本発明の第4の課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、串の一端を把持部にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊を固着させてなる串付き砂糖塊である。

【0005】

【作用】本発明は、串の一端を把持部にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊を固着させてなる串付き砂糖塊であるから、スプーンを使わずにコーヒー、ココア、紅茶、白湯にその砂糖塊部分を直接入れて、把持部をつまんでかき混ぜるだけで手軽に飲むことができ、スプーンの役目も兼ねる。本発明の串付き砂糖塊を透明のビニール、紙などで個々に包装することにより携帯用として山へもどこへでも持ち歩きでき、好きな時に温かい飲み物に入れて手軽に飲むことができる。また、先端部分に位置させた砂糖塊の部分の形状を、人形の形にしたり、動物の形にしたり、或いは花や葉の形にしたりして所望の形状にし、さらに、所望の色や所望の香りをつけることにより楽しさや遊び心をもたらすことができる。さらにまた、串付き砂糖塊の串部分の素材を、竹や木材や金属や合成樹脂などの安価な材料で構成し、場合によっては使い捨てをも可能にすることができ、把持部の形も球形、円筒形に限らず他の形にすることができる。砂糖塊の量は、例えば、5グラム、10グラムのような大きさに形成し、好みに応じて使用できるようにする。

【0006】

【実施例1】本発明は、串の一端を把持部3にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊5を固着させてなる串付き砂糖塊1である。図1に、本発明の串付き砂糖塊1を正面図で示し、図2にその縦断面図で示す。つま楊枝様の断面円形の本製串2の一端に、直径約1センチメートルの本製球形把持部3を取りつける。その串の他端の針状部4にざらめ糖を熱溶着で固着し、砂糖塊5を形成する。その砂糖塊5の量は1回分の使用量とし、例えば、5グラム、10グラムにし、その

(3)

特開平10-262598

3

他、所望量に形成することができる。砂糖はざらめ糖に限らず氷砂糖やコーヒー用砂糖など使用できる。

【0007】

【実施例2】本発明は、図3に示すように、串の他端を針状にし、その針状部に砂糖塊とは別の食用部材6としてチョコレート固着し、その周囲に砂糖を固着させて串付き砂糖塊にする。

【0008】

【実施例3】本発明もまた、図3に示すように、串の他端を針状にし、その針状部に砂糖塊とは別の食用部材6として固形ミルクを固着し、その周囲に食用液状接着剤を付着させ、その周囲に砂糖を固着させて串付き砂糖塊にする。砂糖は氷砂糖でもよい。

【0009】

【実施例4】本発明は、図4に示すように、串の他端を針状にし、その針状部に動物の形の砂糖塊を固着して串付き砂糖塊にする。この砂糖塊はその他、人形の形や、人物の形や、金太郎飴の形や、花、蕾、葉の形に形成することができる。また、その砂糖塊に好みの色と香りをつけることができる。

【0010】

【実施例5】串付き砂糖塊の串部分の素材を、木材で構成し、把持部を図3に示すように、円筒形に構成する。その把持部は球形と円筒形を図示しているが、その他の形も使用できる。また、串部分の素材は木材の他、金属、合成樹脂などの安価な材料で構成し、場合によっては使い捨てをも可能にする。さらに、図6に示すように、把持部と串部分とを一体的に構成した竹串を使用することができる。

【0011】

【効果】本発明は、串の一端を把持部3にし、その串の他端を砂糖塊の固着部にし、その固着部に砂糖塊5を固着させてなる串付き砂糖塊1であるから、スプーンを使わずにコーヒー、ココア、紅茶、白湯にその砂糖塊部分を直接入れて、把持部をつまんでかき混ぜるだけで手軽に飲むことができ、スプーンの役目も兼ねる効果があ

4

る。本発明の串付き砂糖塊を透明のビニール、紙などで個々に包装することにより携帯用として山へもどこへでも持ち歩きでき、好きな時に温かい飲み物に入れて手軽に飲むことができる効果がある。。また、先端部分に位置させた砂糖塊の部分の形状を、人形の形にしたり、動物の形にしたり、或いは花や葉の形にしたりして所望の形状にし、さらに、所望の色や所望の香りをつけることにより楽しさや遊び心をもたすことができる効果がある。さらにまた、串付き砂糖塊の串部分の素材を、竹や木材や金属や合成樹脂などの安価な材料で構成し、場合によっては使い捨てをも可能にすることができ、把持部の形も球形、円筒形に限らず他の形にすることができる効果がある。砂糖塊の量は、例えば、5グラム、10グラムのような大きさに形成し、好みに応じて使用できるようにする効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の串付き砂糖塊の正面図である。

【図2】本発明の串付き砂糖塊の縦断面図である。

【図3】本発明の串付き砂糖塊の砂糖塊部分の変形実施例の縦断面図である。

【図4】本発明の砂糖塊部分を動物の顔にした変形実施例の正面図である。

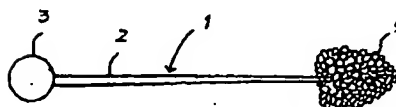
【図5】本発明の串付き砂糖塊に使用する串部分の把持部を円筒形にした串部分の正面図である。

【図6】本発明の串付き砂糖塊に使用する串部分の把持部を串部分と一体的に形成した竹串の正面図である。

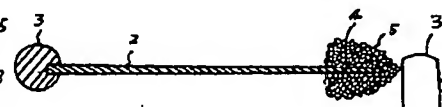
【符号の説明】

1	串付き砂糖塊	2	串付き砂糖塊の串部分
3	球形把持部	3'	円筒形把持部
4	針状部分	5	砂糖塊部分
6	砂糖塊とは別の食用部材	7	竹串の把持部

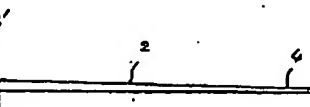
【図1】



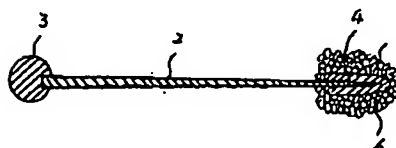
【図2】



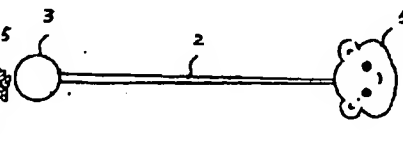
【図5】



【図3】



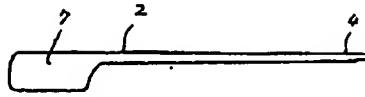
【図4】



(4)

特開平10-262598

【図6】



PAT-NO: JP410262598A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10262598 A

TITLE: SUGAR LUMP WITH SPIT

PUBN-DATE: October 6, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YAGI, HIROZUMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

YAGI HIROZUMI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09106530

APPL-DATE: March 21, 1997

INT-CL (IPC): A23L001/22

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a sugar lump with a spit capable of making a person add sugar without using a spoon and drink coffee, cocoa, tea, etc., in going out for a picnic to a hill, etc., or in a rocking environment such as airplane, ship, etc.

SOLUTION: This sugar lump with a spit is equipped with a gripping part 3 at one end of the spit, the other end of the spit is used as an attaching part 5 for a sugar lump and the sugar lump is stuck to the attaching part 5.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO